

2009 International Microwave Symposium

7-12 June, Boston Convention & Exhibition Center
IEEE Microwave Theory and Techniques Society
www.ims2009.org

論文募集の案内

Steering Committee Chairman
 Fred Schindler
m.schindler@ieee.org

Technical Program
 Mark Gouker
mark.gouker@ieee.org
 Lawrence Kushner
kushner@ieee.org

Workshops
 Gregory Lyons
g.lyons@ieee.org

Interactive Forum
 Dan Swanson
d.swanson@ieee.org

Panel Sessions
 Phil Smith
pmsmith@ieee.org

Focused/Special Sessions
 Tim Hancock
hancockt@ieee.org

Plenary Session
 John Heaton
johnheaton@ieee.org

Virtual Participation
 Charlotte Blair
cblair@ieee.org

Publications
 George Heiter
g.heiter@ieee.org
 Nick Koliass
n.koliass@ieee.org

Operations
 Luciano Boglione
l.boglione@ieee.org

Student Paper
 Jim Komiak
jkomiak@ieee.org

Finance
 Bob Alongi
r.alongi@ieee.org

Local Arrangements
 Tom Costas
tcostas@ieee.org

Exhibition Management
 Lee Wood
lee@mpassociates.com

IEEE MTT-S 主催 International Microwave Symposium 2009 (IMS2009)が、Microwave Week 2009 のメインイベントとして、2009年6月7日(日)から6月12日(金)まで、米国マサチューセッツ州ボストン市にて開催されます。RF 及びマイクロ波の理論と技術の研究、開発、そして応用に関する独自の技術論文を募集いたします。以下に代表的な技術分野の分類を示します。

マイクロ波モデリング分野	受動素子分野
1. 電磁界解析と導波 2. 周波数領域法 3. 時間領域法 4. CAD のアルゴリズムと解法 5. 線形デバイスモデリング 6. 非線形デバイスモデリング 7. 非線形回路解析とシステムシミュレーション	8. 伝送線路素子 9. 受動回路素子 10. 平面受動フィルタとマルチプレクサ 11. 非平面受動フィルタとマルチプレクサ 12. 能動及び集積フィルタ 13. 強誘電体、フェライト及び弾性波素子 14. MEMS 素子と技術
能動素子分野	マイクロ波システム分野
15. 半導体デバイス及びモノリシック IC 技術 16. 信号発生 17. 周波数の変換と制御 18. HF/VHF/UHF の技術と応用 19. 電力増幅器素子と集積回路 20. 大電力増幅器 21. 低雑音コンポーネントと受信機 22. ミリ波及びテラヘルツ用のコンポーネントと技術	23. マイクロ波フォトニクス 24. GHz 速度での信号処理回路とシステム 25. 実装、配線、MCM、及びハイブリッド製造 26. 計装及び測定技法 27. 生物学的影響と医療分野の応用 28. スマートアンテナ、空間電力統合、及びフェーズドアレイ 29. レーダーとブロードバンド通信システム 30. ワイヤレス及びセルラー通信 31. センサーとセンサーシステム

MICROWAVE WEEK 2009: IMS 2009 は、月曜日のプレナリー講演に始まり、技術講演は Microwave Week 中の火曜日から木曜日まで行われます。ワークショップは、日曜日、月曜日、水曜日と金曜日に行われます。Microwave Week 2009 開催期間中は、マイクロ波展示会、歴史展示会、RFIC シンポジウム (www.rfic2009.org)、及び ARFTG 学会 (www.arftg.org) が IMS 2009 と同時にボストンで開催されます。

論文の電子投稿: 本シンポジウムへの技術論文の投稿は、IMS 2009 ウェブサイト (www.ims2009.org) を通して行われなければいけません。論文投稿に関する詳細、参加申し込み、及びその他の重要事項については、IMS 2009 ウェブサイトをご覧ください。

セッション等の企画: ワークショップ(入門から上級レベルまで)、ショートコース、特別講演(フォーカスセッションと名誉講演)、並びにパネル・ランプセッションの企画を募集しております。トピックの提案、運営のボランティア、または参加ご希望の方は、それぞれ以下のウェブサイトで受け付けております:

インターアクティブワークショップ (<http://www.ims2009.org/Workshops.php>)

ショートコース (<http://www.ims2009.org/ShortCourses.php>)

特別講演 (<http://www.ims2009.org/SpecialSessions.php>)

パネル (www.ims2009.org/PanelSessions.php)。

電子投稿の締め切り

ワークショップ、ショートコース、パネル、特別講演に関する企画書 :	2008年9月19日
審査原稿 :	2008年12月8日
最終原稿 :	2009年3月20日
投稿はすべてIMS2009のポータルサイトから行ってください :	www.ims2009.org

投稿はPDF形式のみの受け付けになります。ハードコピーは受け付けておりません。

原稿フォーマットは著者の責任で従ってください。フォントの埋め込みは IEEE Xplore 互換でなければいけません。

米国マサチューセッツ州ボストン市について

レッドソックス、ポール・リビア、**Cheers**や海鮮料理など数々の名所として、ボストンは人気のある観光地です。ボストン（通称**Hub**）は、時には歴史的名所として、また時には近代都市として、誰でも楽しむ事ができる呼び物が多彩にあります。移動には、徒歩や公共交通機関が便利です。アメリカで最初に出来た歴史的ウォーキングコースの一つ、「**The Freedom Trail**」では、16カ所の歴史的スポットを巡り、アメリカの2世紀半の歴史を歩むことができます。名所旧跡の間では、**Newbury**街での買い物、**North End**での本格的イタリア料理や、**Beacon Hill**独特の赤煉瓦街や骨董店などを楽しむことができます。さらに文化的アトラクションとして、世界有数の博物館、シアターや音楽も見逃せません。ボストンでは名高い水族館は、子供向け博物館でもあり科学博物館でもあります。ボストン美術館（**Museum of Fine Arts, MFA**）や現代美術館（**Institute of Contemporary Art, ICA**）もあります。現代美術館では、画期的な展示や魅力的なプログラムを通じて、最先端の展示空間で傑出した芸術作品をご覧になるだけでなく、名作と革新的かつ刺激的に触れあう事ができます。さらに詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.bostonusa.com/>

Translation by: *Takao Inoue.*



www.ims2009.org